

サザンホーム松林 令和7年度 地域連携推進会議録

日時：2026年3月4日（水）11：00～12：30

場所：食堂

文責：高村

議事次第

1. 開会挨拶

本日の会議は、利用者さんと地域との関係づくりや地域の方へのサザンホーム松林や利用者さんに関する理解の促進等を目的に開催しています。

2. 参加者紹介

利用者 Wさん

利用者ご家族 Yさん後見人 道口様

地域住民（福祉に知見のある人） O様

自治会評議員 M様

サザンホーム松林 管理者 伊丹

サービス管理責任者 高村

3. 報告事項

①法人・事業所紹介

法人パンフレットを配布し法人組織の概要、ホームのサービス内容を説明しました。令和6年度事業報告、令和7年度事業計画について説明しました。

②経営状況

令和6年度及び令和7年度上半期の収支状況を説明しました。令和6年度の当期資金収支差額合計は111,456円、今年度上半期は▲2,560,369円と赤字でした。今年度の赤字について、3名が退去ししばらく空室期間があったこと、職員体制を落としたことで加算が下がったことが原因である旨説明しました。

③地域との関わり

地域の防災安否確認訓練に参加しています。神社のお祭りや季節の催事について利用者さんに毎回周知していますが、障害特性もあり参加出来ていません。

④虐待、事故、ヒヤリハット報告

令和6年度 虐待件数0 事故件数0 ヒヤリハット13

令和7年度（3月現在） 虐待件数0 事故件数0 ヒヤリハット28

ヒヤリハットの内容（服薬ミス、食事提供ミス、小遣いセットミス等）について説明

しました。今年度ヒヤリハット件数が増加している点について、昨年度より支援の質が低下している事ではなく、職員の気付きが増え重大事故を防げている事である旨説明しました。

虐待防止委員会の定期開催、虐待セルフチェックの毎月実施等虐待防止に関する取組について説明しました。

⑤利用者の日常生活の様子

現在の入居者の状況について説明しました。

- ・主に精神障害の方を対象としたグループホームです。
- ・昨年5月、8月、10月と利用者さんが退去しました。現在は新しい利用者さんで満室になっています。
- ・昨年1月に脊椎症の手術をした利用者さんの術後の精神面の回復が悪くうつ状態が続いています。
- ・利用者さんが他の利用者さんの話し声に過敏で苦手になっています。その都度職員が間に入って対応しています。
- ・ご家族の支援力がある利用者さんは1名しかいません。
- ・食事はヨシケイの材料を職員が調理して提供しています。好き嫌いのある利用者さんは個別の食材を提供しています。土日の昼食は職員によるメニューを提供しています。
- ・今年度3名の利用者さんが就職することが出来ました。内1名はクローズ就労です。

⑥利用者さんより

利用者 W さん「落ち着いて生活出来ています。」

Y さん後見人「困っていることはありますか？」

利用者 W さん「苦手な人がいます。職員さんが対応してくれてなるべく顔を合わさないよう過ごさせています。」

4. 質疑応答・意見交換

ホームの収支、特に今年度の赤字について質問がありました。法人のグループホーム全体の収支は黒字でありホーム単体の赤字はカバーされていること、赤字によって支援の質が低下することは無い旨説明しました。

重度の障害の利用者も利用できるホームが増えれば良い、サザンホームも重度の障害者を受け入れて欲しいとの意見がありました。サザンホームについては、ワンルームアパートタイプで職員の日が行き届かないことや追加設備（スプリンクラー等）が必要になること等から重度障害者の受け入れは難しいことを説明しました。重度の障害者の受け入れ可能なホームが増えることの意義について共有しました。

5. 見学

会議後そのまま建物内及び事務所、居室を見学してもらいました。障害があっても適切な支援があれば普通のワンルームアパートに暮らせるとの感想がありました。